

グローバル事業体制強化 中国事業体制の再編成

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:町田 精孝)は、中国市場にて更なる事業展開を図るため、2013 年 7 月 1 日付で既存の中国子会社 2 社※を統合・再編成致しました。今回の再編は、マーケティング、販売、エンジニアリング、製造、アフターサービス並びに製品開発を現地事業体制として構築し、今後の TMEIC グループにおける現地化モデルとして位置づけております。

2015 年度に売上高 1,690 百万元(約 200 億円)を目標とし、中国市場における事業拡大に取り組んでまいります。

※:東芝三菱電機工業系統(北京)有限公司, 上海堤邁克電気伝動科技有限公司

【再編成の狙い】

- 1.これまで別々に別れて運営されてきたマーケティング、販売、エンジニアリング及びアフターサービスの機能を結集させることにより、より高度な顧客サービスの提供を目指してまいります。
- 2.上海市嘉定区に新工場を開設し、パワーエレクトロニクス機器の製造を開始致します。大容量太陽光発電システム用パワーコンディショナの生産を皮切りに順次機種拡大を図ってまいります。
- 3.中国現地法人での輸出入対応機能を強化致します。これまでの中国プロジェクトで実績のあるシステム構成機器を他地域のプロジェクトに活用し、システム全体の競争力維持を図ってまいります。

【再編成の背景】

旺盛なインフラ投資ブームと相俟って、2004 年中国市場への進出(現地法人設立)以来、累計 1,600 億円を超える中国向け輸出の実績を計上致しました。然しながら、やや過熱気味に推移してきたこれまでの拡大投資から、今後はエネルギー、環境及び省エネ分野等のように特定分野に軸足がシフトされた選択的・効率重視の投資や既設設備の更新・メンテナンス需要へ移行していくことが想定されます。

このような市場環境の変化に対応するため、開発・製造から販売・アフターサービスまで一貫して運営できる事業体制を構築すると共に、既存の販売・エンジニアリング機能を更に強化することにより、より現地に根ざしたオペレーションを指向致します。引き続き中国を重点市場の 1 つと位置づけ、今回の体制再編成により事業拡大を図ります。

【再編成後の会社 概要】

社名	東芝三菱電機工業系統(中国)有限公司	
拠 点	本社	北京市海淀区
	支店	上海市長寧区
	工場	上海市嘉定区 (主要製品: 大容量太陽光発電システム用パワーコンディショナ)
資本金	US\$ 7 百万	
株主	東芝三菱電機産業システム(株)(TMEIC) 100%	
代表者	総経理 Frederick Tsui (徐 仲新)	
事業内容	1. 産業用電気機器及びシステムのマーケティング、販売、エンジニアリング、アフターサービス並びに製品開発 2. パワーエレクトロニクス製品の製造 3. 中国調達品・取り纏めシステムのグループ内供給窓口	
事業開始	2013 年 7 月	

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 企画・業務部
〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MT ビル
Tel: 03-5441-9140 Fax: 03-5441-9125